

[養殖状況]

生産量は日照時間の伸びや食害の減少などにより徐々に増加中です。墨ノリは減少していますが、C等級が増加中です。2/4に春一番が1951年以降で最も早く記録されるなど気温は高めで経過し、内湾は赤潮気味、内房は沖合水の波及によって、栄養塩の低下が懸念される状況です。

[気象・海況]

○気 象 2月上旬の気温は平年より2.5℃高く、日照時間は128%、降水量は125%でした。向こう1か月の気温は「高い」と予報されています。

○水 温 千葉北部は9℃前後、木更津地区～富津は11℃前後、富津地区は13℃前後です。平年より約1℃高めです。

○沖合水 新富津以南の漁場では1/30～2/5の間、断続的に強く波及しましたが、現在、強い波及は収まっています。

○栄養塩 内湾ではスケルトネマなどの小型ケイ藻類が増殖しています。窒素 351～608 μg/L と十分量ですが、リン 0～16 μg/L と色調基準値を下回っている場所もあります。内房は窒素 219～253 μg/L、リン 11～13 μg/L で色調基準値を上回っていました。

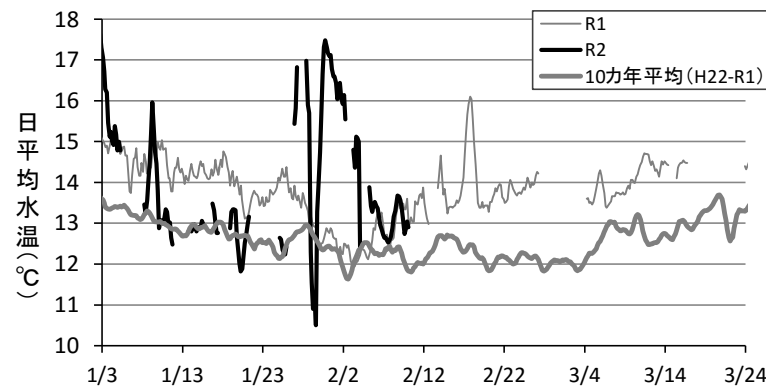


図1 新富津漁場(観測ブイ)の表層水温の推移

[今後の留意点]

- 現在の赤潮の優占種は小型ケイ藻類です。栄養塩は一旦低下しますが、時化や降雨等で回復すると思われます。
- 登り水温期になると、あかぐされ病の蔓延が懸念されます。段線管理と活性処理を徹底してください。
- 全国的に色落ちが進行しています。本県では4月末まで生産が継続できるように、計画的な網管理を行って下さい。